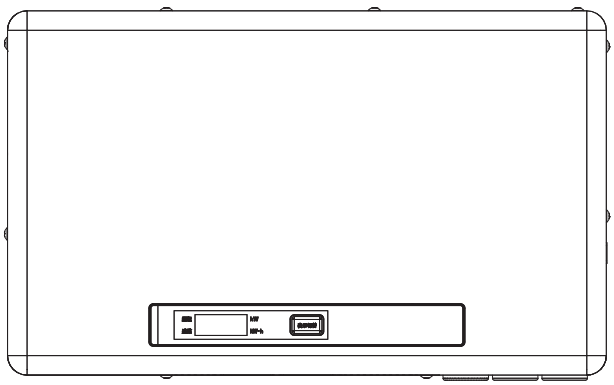
お客様用

KPK-A40/KPK-A55
ソーラーパワーコンディショナ
取扱説明書

はじめに

使い方

その他



このたびは、ソーラーパワーコンディショナ (以下パワーコンディショナ) をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、パワーコンディショナの機能および使用方法について解説します。
はじめにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも参照できるよう大切に保管してください。

品番 5372857-4 E

日本国内専用品
Use only in Japan

目次

はじめに

安全上のご注意 3
太陽光発電システムについて 6
各部の名前と働き 7

使い方

連系運転と自立運転について 8
通常時の使い方（連系運転） 8
停電時の使い方（自立運転への切り替え） 9
復電時の操作（連系運転への切り替え） 11
情報を確認する 12

その他

こんなときは 13
エラーコードを確認する 14
点検とお手入れ 16
仕様 17
保証とアフターサービスについて ..... 裏表紙

◆本書内の表現について

- 参照していただくページを（⇨ 00）で示しています。
- イラストが実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 形式の記載がない場合は、KPK-A40 のイラストを記載しています。

安全上のご注意

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

⚠ 警告	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
⚠ 注意	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。

※ 物的損害とは、製品の故障、誤動作などでお客様の設備や財物に損害を与えることを示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 ●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	 ●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
 ●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告	 ●高温注意 特定の条件において、高温による傷害の可能性を注意する通告
 ●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告	 ●必ずアース線を接続する 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示

以下の項目は、パワーコンディショナを安全に使用していただくための重大な内容を記載しています。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告	
	**・ぬれた手で触ったり、ぬれた布でふいたりしないでください。** **・フロントカバーを開けたり、内部を手で触れたりしないでください。** 感電による傷害が起こるおそれがあります。
	**雷が鳴っているときは、パワーコンディショナやケーブルには触れないでください。** 感電による傷害が起こるおそれがあります。
	**通風口から中に物を入れないでください。** 感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。
	**・可燃性スプレーや殺虫剤を吹き付けないでください。** **・近くに燃えやすい物を置かないでください。** **・機器の近くで薬剤を散布しないでください。** 発煙・発火・火災が起こるおそれがあります。
	**湯気、水蒸気、冷気、油煙、腐食性ガス、熱（ストーブなど）を出す機器をパワーコンディショナ付近に置かないでください。** 発煙・発火・火災のおそれがあります。

⚠ 警告	
	**パワーコンディショナを塗装しないでください。** 発煙・発火・火災・故障の原因になります。
	**お手入れ時に洗剤や薬品を使用しないでください。** 発煙・発火・火災が起こるおそれがあります。
	**次の機器を停電用コンセント（自立運転出力）に接続しないでください。** **・すべての医療機器** **・灯油やガスを用いる冷暖房機器** **・パソコン、ワープロなどの情報機器** **・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器** 停電用コンセント（自立運転出力）の電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器の機能障害が起こるおそれがあります。 停電用コンセントは太陽の光が弱くなると必ず電圧が低下します。 接続に際しては、突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。
	**停電用コンセント（自立運転出力）にコンセントプラグ以外を挿入しないでください。** 感電するおそれがあります。
	**停電用コンセント（自立運転出力）に機器を接続したままにしないでください。** 発煙・発火・火災・感電・けがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。
	**パワーコンディショナの上に物を置いたり、動物が乗ったりしないようにしてください。** 花びん・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛等が侵入し、発煙・発火・火災・故障の原因になります。
	**パワーコンディショナに液体（雨水、動物（猫、鳥、ネズミ等）の尿等）がかからないようにしてください。** 発煙・発火・火災・故障の原因になります。
	**分解、改造、または修理をしないでください。** 感電による傷害や発煙・発火・火災が起こるおそれがあります。
	**煙が出たり、変な音やにおい、その他異常を感じた場合、以下を実施し、お買い上げの販売店へ連絡してください。** **・パワーコンディショナの運転を停止する** **・太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする** **・（接続箱の場所がわかる場合）すべての開閉器を「オフ」にする** パワーコンディショナには触らないでください。 感電・けがのおそれがあります。
	**取り付け工事、修理、改造、増設、移動、再設置などは、お買い上げの販売店へ連絡してください。** 感電による傷害が起こるおそれがあります。

⚠ 注意	
⃠	**通電中や電源を切った直後は製品本体に触らないでください。** 高熱のため、やけどのおそれがあります。
⃠	**上に乗ったり、ぶらさがったり、物を置いたりしないでください。** 落下・転倒・けがのおそれがあります。
⃠	**ぬれた手で停電用コンセント（自立運転出力）を抜き差ししないでください。** 感電による障害が起こるおそれがあります。

◆安全上の要点

- 日常点検とお手入れは必ず行ってください。その際、さびの発生など、本体外観に異常がないか確認してください。(⇨ 16)
- 廃棄される際は、お買い上げの販売店に依頼してください。
- 通風口をふさいだり、本体から上 150mm、下 300mm、左 50mm、右 120mm 以内に物を置いたりしないでください。機能低下のおそれがあります。
- 高いところに設置された機器を操作する場合は、足場など十分安全を確保して作業してください。

◆使用上の注意

- 壁面に設置した停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 本体側面の停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 停電用コンセント（本体側面および壁面）の合計消費電力は、下記指定の電力以下になるようにしてください。
  – KPK-A40 の場合：2000VA 以下（AC100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
  – KPK-A55 の場合：2750VA 以下（AC100V で最大 27.5A 以下）になるようにしてください。
- パワーコンディショナの運転時、高速電力線通信（PLC）アダプターを用いたインターネットなどのデータ通信速度が低下する場合があります。
- パワーコンディショナの運転時、アマチュア無線などの無線機器に雑音が入る場合があります。
- ラジオ・テレビなど、電波を利用する機器はパワーコンディショナから 3m 以上離してください。電波受信に影響が出るおそれがあります。

【本体への表示内容】
経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、以下の内容の表示を本体に行っています。

⚠	【設計上の標準使用期間】 15 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

【設計上の標準使用期間とは】
- 以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、使用開始日（連系開始日）から安全上支障なく、使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

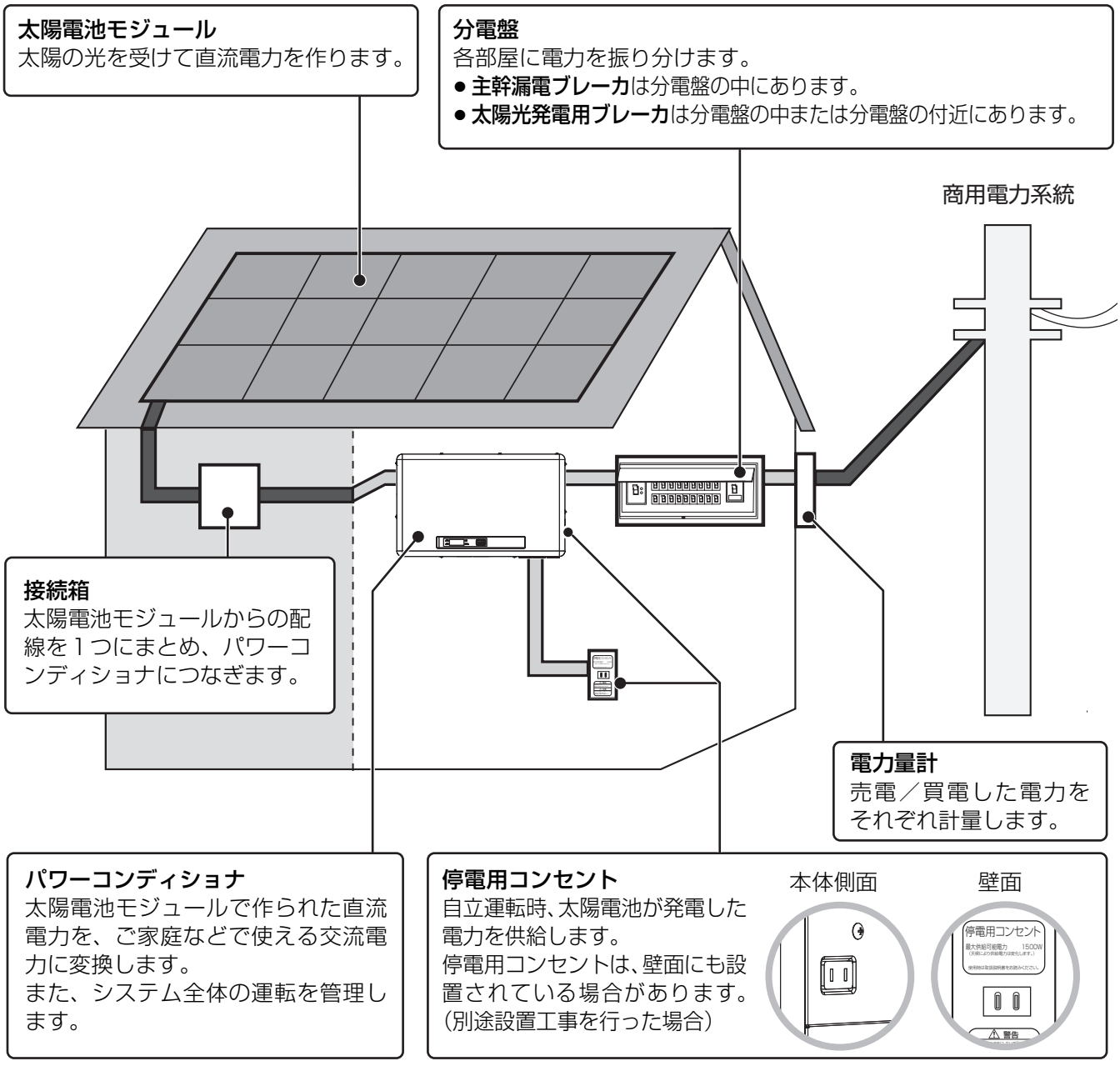
■ 標準的な使用条件

形式		KPK-A40	KPK-A55
環境条件	入力電圧	定格入力（DC250V）	
	出力電圧	定格出力（AC202V）	
	出力電力（力率 0.95 時）	定格出力（4.0ｋW）	定格出力（5.5ｋW）
	周囲温度	25 ℃	
	設置条件	標準設置（施工マニュアルによる）	

太陽光発電システムについて

◆システム全体図

（この図は一例です）



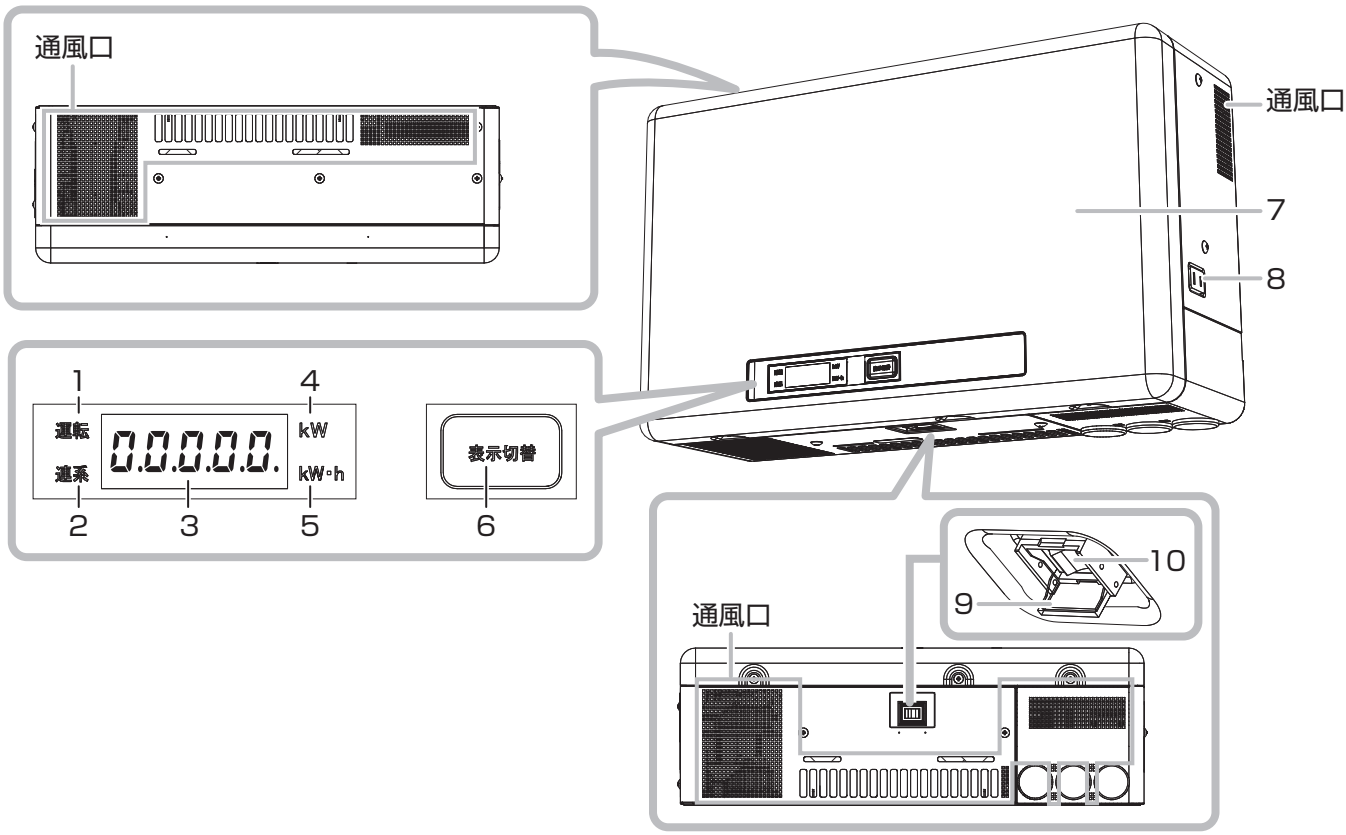
◆売電と買電

昼間など発電電力が消費電力より多いときに、余っている電力分を電力会社に売ることを**売電**といいます。
逆に、夜間や発電電力が消費電力より少ないときに、足りない電力分を電力会社から買うことを**買電**といいます。

◆連系運転と自立運転

太陽光発電システムには、連系運転と自立運転という２つの運転モードがあります。
連系運転は、通常時の運転モードです。発電電力や消費電力に合わせて、電力会社に売電／買電されます。
自立運転は、非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。自立運転時は、電力会社に売電されず、停電用コンセントに接続した電気製品に太陽光により発電された電力を供給します。

各部の名前と働き



1 運転ランプ（青）
運転中に点灯します。

2 連系ランプ（緑）
連系運転中に点灯します。

3 表示部
発電電力やエラーコードなどを表示します。

4 発電電力表示ランプ [kW]（緑）
表示部に発電電力が表示されているときに点灯します。

5 積算電力量表示ランプ [kW・h]（緑）
表示部に積算電力量が表示されているときに点灯します。

6 表示切替ボタン
スイッチを押すごとに、表示部の表示が切り替わります。

7 フロントカバー

8 停電用コンセント（本体側面）
自立運転時、太陽光発電した電力を供給します。

9 運転スイッチカバー
図の矢印の方向に開いてください。



- 運転スイッチの操作後は、カバーを必ず閉じてください。

10 運転スイッチ
パワーコンディショナの運転開始（「オン」）／停止（「オフ」）を行います。



- 夜間など太陽電池が発電していないときは、すべての表示およびランプが消灯し、操作できません。
- 停電用コンセントは、パワーコンディショナ本体側面以外に、壁面にも設置されている場合があります。

連系運転と自立運転について

通常時の使い方（連系運転）

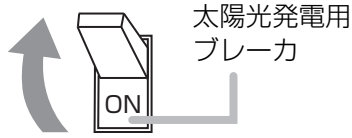
通常、パワーコンディショナは連系運転で使用します。連系運転中、パワーコンディショナは自動的に、太陽電池が発電しだすと起動し、発電しなくなると停止します。
日常において、下記の操作（「連系運転を開始する」/「運転を停止する」）は不要です。

連系運転を開始する

連系運転が開始していない場合は、下記にしたがって操作してください。

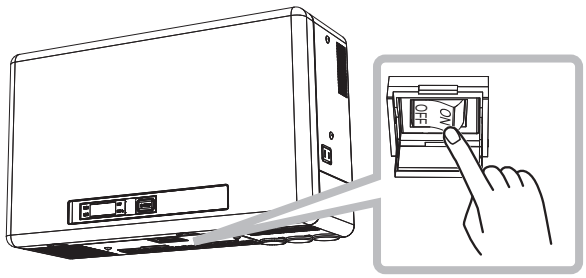
1 太陽光発電用ブレーカ (⇨ 6) を「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または「HLd」が点滅します。



2 運転スイッチを「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 7 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。



3 運転ランプ、連系ランプおよび発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部に現在の発電電力が表示されます。



（2.2kW 発電時のイラストです）

- 日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、パワーコンディショナは運転を停止し、停電が回復すると、自動的に連系運転を再開します。
  停電の回復後、表示部に「HLd」が点滅表示されている場合は、一度運転スイッチを「オフ」にし、再度「オン」にしてください。(⇨ 7) 連系運転を再開します。

運転を停止する

異常発生時などで運転を停止する必要がある場合は、下記にしたがって操作してください。

1 運転スイッチを「オフ」にする

- 運転スイッチの操作は 7 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。

2 すべてのランプが消灯することを確認する

- 表示部に「oFF」が表示されます。
- 運転スイッチが「オフ」のとき、パワーコンディショナは停止状態を保つため、自動的に起動しません。
- 再度運転スイッチを「オン」にすると、連系運転を再開します。(⇨ 上記)



使い方

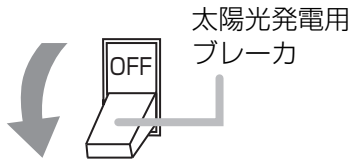
停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

- **（表示部に「E 1-0.0」が表示されている場合）**
  連系運転と自立運転を手動で切り替える設定になっています。手順 1 ～ 4 を行ってください。
  （表示部に発電電力が表示されている場合）
  連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定になっています。
  自動的に自立運転が開始されていますので、手順 3、4 のみ行ってください。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。
- 停電時に備えて、日頃から自立運転を確認してください。

1 太陽光発電用ブレーカ (⇨ 6) を「オフ」にする

2 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする。



- 運転スイッチの操作は 7 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカチッと動作音がします。

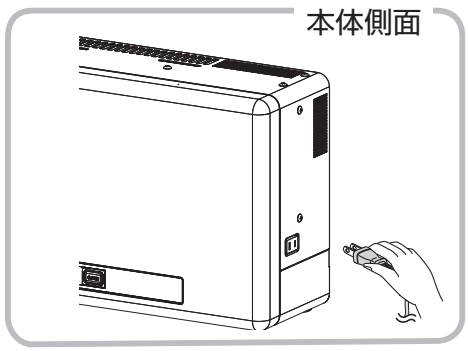
3 運転ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する



（上記数値は例です）

4 停電用コンセント（本体側面および壁面）に、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。(⇨ 4)
- 壁面に設置した停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 本体側面の停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 停電用コンセント（本体側面および壁面）の合計消費電力は、下記指定の電力以下になるようにしてください。
  –KPK-A40 の場合：2000VA 以下（AC100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
  –KPK-A55 の場合：2750VA 以下（AC100V で最大 27.5A 以下）になるようにしてください。
- 表示部には、現在の発電電力が表示されます。







（1.24kW 分の負荷接続時のイラストです）

自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。

（連系運転と自立運転を手動で切り替える設定になっている場合）
太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にして自立運転を再開させてください (⇨ 7)。
- 表示部に「E 1-00」が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。

（連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定になっている場合）
太陽電池が発電を開始すると、自動的に自立運転が再開されます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。(⇨ 7)
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。

  保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
  ① 運転スイッチを「オフ」にする (⇨ 7)
  ② 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器を減らす
  ③ 運転スイッチを再度「オン」にする (⇨ 7)

復電時の操作（連系運転への切り替え）

（連系運転と自立運転を手動で切り替える設定になっている場合）
復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。その場合、手順 1 ～ 4 を行ってください。
- 夜間に復電した場合は、手順2のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。

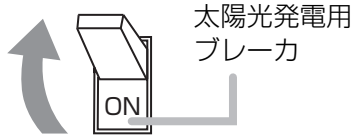
（連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定になっている場合）
復電後は、自動的に連系運転に切り替わります。その場合、手順 4 のみ行ってください。
- 表示部に「HLd」が点滅される場合は、一度運転スイッチを「オフ」にし、再度「オン」にすると、連系運転を開始します。
- 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。

1 運転スイッチを「オフ」にする

- 運転スイッチの操作は 7 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 表示部に「E 1-0.0」が表示されます。

2 太陽光発電用ブレーカ (⇨ 6) を「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または「HLd」が点滅します。



3 運転スイッチを「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 7 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。

4 運転ランプ、連系ランプおよび発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 現在の発電電力が表示されます。

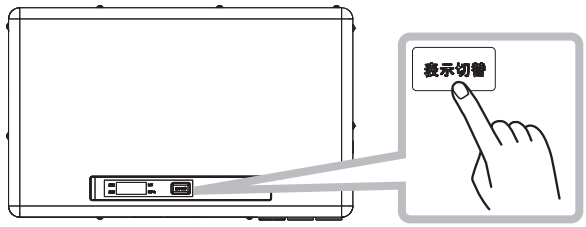


（2.2kW 発電時のイラストです）

情報を確認する

現在の発電電力（瞬時発電電力）/ 電圧上昇抑制積算時間 / 総積算電力量 / ユーザ積算電力量 /LED 省エネモード設定表示の情報を確認することができます。

連系運転中または自立運転中に表示切替ボタンを押す



● 表示切替ボタンを押すごとに、情報が下記のように切り替わります。

現在の発電電力（瞬時発電電力）表示
現在の太陽光発電の発電値（kW）を表示します。



表示切替 ボタンを押す

電圧上昇抑制積算時間表示
電圧上昇抑制が働いた積算時間（単位：時間）が表示されます。
● 9999 時間を超えると、0 時間に戻ります。



表示切替 ボタンを押す

総積算電力量表示
太陽光発電システムが稼働し始めてから現在までに発電した積算電力量（kW·h）が表示されます。
● 99999kW・h を超えると、0kW・h に戻ります。
● 総積算電力量はリセットできません。



表示切替 ボタンを押す

ユーザ積算電力量表示
太陽光発電システムの積算電力量（kW・h）が表示されます。ユーザ積算電力量表示はリセットすることができるので、週単位や月単位の発電電力量を知るのに便利です。

● 9999kW・h を超えると、0kW・h に戻ります。
● **ユーザ積算電力量をリセットするには**
ユーザ積算電力量表示中に、表示切替ボタンを５秒以上長押ししてください。ユーザ積算電力量がリセットされ、新しくユーザ積算が開始されます。（表示部に「U. 0」が表示されます）



表示切替 ボタンを押す

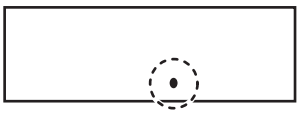
LED 省エネモード設定表示
LED 省エネモード設定の設定内容が表示されます。
（「L. 0」：通常モード、「L. 1」：省エネモード）
● 省エネモードに設定している場合、運転中に150秒間キー操作を行わないと表示部とランプが消灯します。
● **LED 省エネモード設定を変更するには**
LED 省エネモード設定の表示中に、表示切替ボタンを 5 秒以上長押ししてください。表示切替ボタンを長押しする毎に「L. 0」/「L. 1」が切り替わります。



● ５秒間操作がなければ、現在の発電電力（瞬時発電電力）の表示に戻ります。
● 夜間など太陽電池が発電していないときは、すべての表示およびランプが消灯し、操作できません。
● 夜間停止後の起動時には、表示部に「ー」が点滅表示されます。連系運転を開始するまでの投入遅延時間の経過待ち状態です。

こんなときは

パワーコンディショナの動作に不具合が生じたり、エラーコードが表示されたときは、次の内容を確認し適切に対処してください。
下記に記載のない異常が発生している場合や、対処をしても直らない場合は、太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にし (⇨ 6)、お買い上げの販売店へ連絡してください。
- 安全のために継続してパワーコンディショナを停止させておきたい場合は、運転スイッチを「オフ」にし (⇨ 7)、太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にしてください。(⇨ 6)

症状	原因と対処方法
煙が出ている。 変なにおいがする。	● ただちに使用を停止（運転スイッチを「オフ」）し、お買い上げの販売店へ連絡してください。(⇨ 7)
運転スイッチを「オン」にしてもすぐに運転を開始しない。	● 太陽電池の発電量が不足しています。日射量が増えると運転を開始します。 ● カウントダウン表示している場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。
表示部中央に「 . 」（ドット）が点灯している。 	● 連系運転再開中です。連系運転を開始すると、通常表示に戻ります。 ● 朝夕など、日射量が少ないときに点灯します。晴れているのに点灯する場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。
表示部に「HLd」が点滅している。 	● 投入遅延時間が手動復帰に設定されているため、自動的に連系運転を再開できません。運転スイッチを一度「オフ」にし、再度「オン」にしてください。（運転スイッチが「オフ」の場合は、「オン」にしてください）(⇨ 7) 連系運転を再開します。
晴れているのに、パワーコンディショナが運転していない。	● 表示部に「OFF」が表示されていませんか。 表示されている場合は、運転スイッチを「オン」にしてください。(⇨ 7) ● 表示部にエラーコードが表示されていませんか。 表示されている場合は、「エラーコード一覧」(⇨ 15) をお読みください。
連系ランプが点灯しない。	● 自立運転になっています。自立運転の必要がなければ、自立運転から連系運転へ切り替えてください。(⇨ 11)
発電電力表示ランプ（kW）または積算電力量表示ランプ（kW・h）が、2 秒点灯、2 秒消灯を繰り返している。	● 出力制御ルールによる出力抑制機能が働いています。 故障ではありません。出力抑制が解除されると通常運転に戻ります。
パワーコンディショナの本体表面温度が高温になっている。	● パワーコンディショナの本体表面温度は最高約 85 ℃まで上がりますが、異常ではありません。
停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続した機器が動かない。	● 連系運転になっています。自立運転に切り替えてください。(⇨ 9) –太陽光発電用ブレーカが「オン」になっていれば、「オフ」にしてください。(⇨ 6) –運転スイッチが「オフ」になっていれば、「オン」にしてください。(⇨ 7) ● 停電用コンセントに接続している機器を減らしてください。
主幹漏電ブレーカが頻繁に動作する。	● 家電製品、パワーコンディショナ、または太陽電池の漏電か、太陽光発電用ブレーカの不具合の可能性があります。 運転スイッチを「オフ」にし (⇨ 7)、太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にしたうえで (⇨ 6)、お買い上げの販売店へ連絡してください。

症状	原因と対処方法
異音がする。	● 下記の音が発生する場合がありますが、異常ではありません。 –キュー音： 制御電源の起動音です。（朝夕の日射量の少ないときや太陽電池が雪や落ち葉などで覆われているとき※に発生します） ※しばらく発生する場合は、雪や落ち葉を取り除いてください。 –ジィージィー音 / チリチリ音 / チャリチャリ音： パワーコンディショナの高周波スイッチング動作により発生する音です。 –カチッカチッ音： 連系用リレーの動作音です。（運転開始時と停止時に発生します） ● 運転時の高周波音は、聴覚感度の高い方にとって不快に感じる場合はあります。

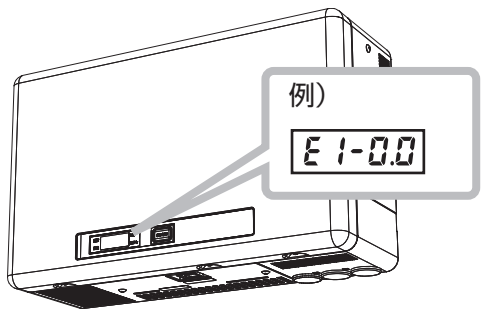
◆風水害または地震時の対応

風水害時に水没のおそれがあるときは、「運転を停止する」(⇨ 8) にしたがって、あらかじめ装置の運転を止めてください。
また、水没した場合には、装置の運転を止めた状態でお買い上げの販売店までご連絡ください。
地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売店までご連絡ください。

エラーコードを確認する

異常が発生すると、表示部にエラーコードが表示され、運転が停止します。

- 異常が発生している間、エラーコードが継続して表示されます。
- 複数の異常が発生している場合でも、１つのエラーコードだけが表示されます。
- 操作表示ユニット（KP-SW1）では、下記エラーコードの「-」（ハイフン）と「.」（ドット）が省略されて表示されます。（例「E230」）



◆異常発生履歴を確認するには

① 運転スイッチを「オフ」にする (⇨ 7)
② 表示切替ボタンを押す
③ エラーコードを確認する

例）過去に「E1-0.0」→「E4-3.1」の順に異常が発生した場合



- 新しい順に項目番号とエラーコードが表示されます。
- 最大 50 件まで表示され、50 件を超えると古い順に消去されます。
- 異常発生履歴がない場合は、「-----」が表示されます。

◆エラーコード一覧

エラーコード	意味	対処方法
E1-0.0	停電が発生しています。	● 停電が回復すると、自動的に連系運転を再開します。停電時に自立運転に切り替える場合は、「停電時の使い方（自立運転への切り替え）」(⇨ 9) をお読みください。
	太陽光発電用ブレーカが「オフ」になっています。	● 自立運転の必要がなければ、太陽光発電用ブレーカを「オン」にしてください。
	交流側のヒューズが切れている可能性があります。	● 太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E1-1.0 ～ E1-8.0	商用系統に異常が発生しています。	● 商用系統が正常な状態に戻ると、自動的に運転を再開します。 運転が再開されない場合は、太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にし、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E2-1.0	太陽電池の電圧が高くなっています。	● ただちに運転スイッチを「オフ」にして、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E2-3.0	太陽電池に異常が発生しています。	
E3-1.0 ～ E3-3.0	パワーコンディショナ本体に異常が発生しています。	● 故障している可能性があります。 太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にし、お買い上げの販売店へ連絡してください。
E4-2.0 ～ E4-9.0		
E5-1.0 ～ E5-6.0		
A3-0.0		
E5-7.0 E5-7.1	パワーコンディショナと計測ユニット / 操作表示ユニットとの通信に障害が発生しています。	● お買い上げの販売店へ連絡してください。
E3-4.0	パワーコンディショナ内部の温度が高温になっています。	● パワーコンディショナの運転スイッチを「オフ」にして、通風口を点検してください。(⇨ 7) 通風口をふさいでいるものがあれば取り除いてください。 30 分経過して、運転スイッチを「オン」にしてください。再度エラーコードが表示される場合は、故障の可能性があります。お買い上げの販売店へ連絡してください。
A1-5.0 A1-5.1	停電用コンセント（本体側面および壁面）に過負荷がかかりました。	● 停電用コンセントに接続している機器を減らすか、故障した機器があればその機器を外してください。 1 運転スイッチを「オフ」にする (⇨ 7) 2 停電用コンセントに接続している機器を減らすか、故障した機器を停電用コンセントから外す 3 運転スイッチを「オン」にする (⇨ 7)

● 自立運転時にも「E1-1.0」、「E1-7.0」または「E1-7.1」が表示されることがあります。
故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店へ連絡してください。

上記以外のエラーコードが表示される場合
運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。(⇨ 7)
再起動しても異常が解消されないときは、太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にし (⇨ 6)、お買い上げの販売店へ連絡してください。

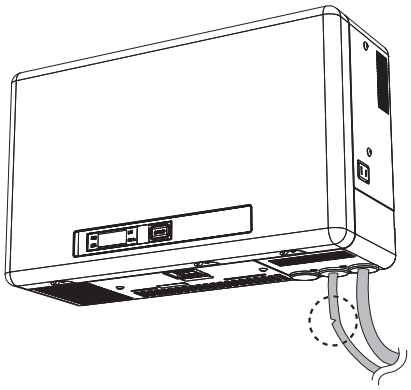
点検とお手入れ

故障や事故を防ぐために、日常点検とお手入れは必ず行ってください。（日常点検は月 1 回程度行うことをお勧めします。また、地震の後は必ず点検を行ってください）

◆日常点検のしかた

ご使用の際に、以下の項目を点検してください。
異常を発見した場合は、太陽光発電用ブレーカと接続箱のすべての開閉器を「オフ」にし、お買い上げの販売店へ連絡してください。

- 表示部にエラーコードが表示されていたり、ランプが点滅していませんか？
  詳しくは「こんなときは」(⇨ 13) をお読みください。
- 通常と異なる音やにおいがしていませんか？
  運転時、発電電力が大きくなると、動作音が大きくなりますが、異常ではありません。
- 通風口 (⇨ 7) が目詰まりしていませんか？
  詰まっていたら異物を取り除いてください。
  また、通風に伴う自然対流により装置や壁が汚れることがあります。乾いたきれいな布でほこりを払い落してください。
- 配線に傷はありませんか？（壁内へ隠ぺい配線されていて、配線が見えない場合があります）



◆お手入れのしかた

- お手入れは、安全のためパワーコンディショナの運転スイッチ、太陽光発電用ブレーカ（交流側）、接続箱の主開閉器（直流側）を「オフ」にして行ってください。
- ほこりを掃除機などで取り除き、柔らかい布で全体をからぶきしてください。

仕様

形式	KPK-A40	KPK-A55
外形寸法	幅 460mm ×高さ 333mm ×奥行き 157mm （取り付けベース板を含む）	幅 550mm ×高さ 333mm ×奥行き 173mm （取り付けベース板を含む）
質量	約 16.0kg （取り付けベース板を含む）	約 19.6kg （取り付けベース板を含む）
定格出力	4.0kW（力率 1.0 時） 4.0kW（力率 0.95 時）	5.5kW（力率 1.0 時） 5.5kW（力率 0.95 時）
定格入力電圧	DC250V	
入力電圧範囲	DC0 ～ 450V	
定格出力電圧	AC202 ± 12V	
定格周波数	50/60Hz	
電力変換効率※ 1	96.5%（力率 1.0 時） 96.0%（力率 0.95 時）	96.0%（力率 1.0 時） 95.5%（力率 0.95 時）
定格力率	0.95 ※ 2	
力率設定範囲	0.8 ～ 1.0	
出力電流ひずみ率	総合５%以下（入出力定格時にて）　　各次３%以下（入出力定格時にて）	
消費電力	0.5W	
使用周囲温度	－ 10 ～+ 40 ℃	
使用周囲湿度	25 ～ 90%RH（結露なし）	
インバータ方式	連系運転時：電圧型電流制御方式　　自立運転時：電圧型電圧制御方式	
制御方式	最大電力追従制御	
スイッチング方式	PWM 方式	
絶縁方式	非絶縁トランスレス方式（昇圧チョッパ方式）	
出力相数	単相２線式（接続方式単相３線）	
保護機能	交流過電圧検出、交流不足電圧検出、周波数上昇検出、周波数低下検出、直流分検出、 直流地絡検出、電圧上昇抑制、 単独運転検出 ① 周波数変化率検出（受動的方式） ② ステップ注入付周波数フィードバック方式（能動的方式）	
騒音（A 特性）※ 3	30dB 以下（測定周波数 18kHz 以下、装置正面 1m にて）	
自立運転	電気方式と定格電圧：単相２線、ＡＣ １０１ Ｖ	
	定格容量：2.0 kVA	定格容量：2.75 kVA
	定格周波数：50/60Hz（自動判定：系統からの学習による 50/60Hz 判定）	

※ 1. JIS C 8961 準拠
※ 2. 標準力率 0.95 を変更する場合は、電力会社様との協議が必要になります。
※ 3. 壁構造によっては低周波音が発生する場合があります。また、位相制御機器のノイズの影響を受ける場合があります。

保証とアフターサービスについて

保証について

保証に関する内容につきましては、お買い上げの販売店の条件によるものとさせていただいております。
詳しくは、お買い上げの販売店へご確認ください。

修理を依頼されるとき

ご連絡の際は、次の項目をお知らせください。

- 製造番号
- お買い上げ年月日
- ご住所、お名前、電話番号
- 故障内容（表示部の内容）、故障発生時の状況（天候や時間など）

製造番号	
お買い上げ年月日	年　　月　　日
ご住所	
電話番号	（　　）　　－
お名前	
故障内容・故障発生時の状況	

商品のお問い合わせは

商品・修理・トラブル・メンテナンス・別売品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店に相談してください。

店名	
住所	
電話番号	（　　）　　－
販売店押印欄	

オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル7F

© OMRON Corporation All Rights Reserved